付表　史跡上野国分寺跡遺構一覧表

凡　例

1　記号・番号

遺構は次の分類記号によって区分し、種類ごとに一連番号を付した。

ＳＡ：柱穴列など　　ＳＢ：基礎建物・掘立柱建物　　ＳＤ：溝・濠

ＳＥ：井戸　　ＳＦ：築垣・塀　　ＳＪ：竪穴式住居

ＳＫ：土壙　　ＳＴ：墓壙　　ＳＸ：性格不明

2　調査次

Ｔはトレンチ調査（１～15）、次は調査次（16～35）を示す。

3　位　置

調査基点（第Ⅸ座標Ｘ＝43,750.0、Ｙ＝−72,500.0）からの距離を示す。

Ｓ：南　Ｎ：北　Ｅ：東　Ｗ：西　数字は m

4　形状・規模

検出された状態での法量などを示す。

5　検出状況

他の遺構との重複状況などを示す。

6　時　期

遺構の時代を示す。時期が細分できるものについては世紀で示す。

7　その他

(1)　各欄の記入がない個所は不明であることを示す。

(2)　調査時につけた記号・番号が、後の検討によって遺構の区分が変ったもの、遺構でないと認定されたものは欠番とした。

記号・番号	調査次	位　置	形状・規模	検出状況	時　期
ＳＡ					
01	12Ｔ	Ｎ58−61・Ｅ16−40	柱穴７、柱間240～300cm。Ｅ－０－Ｓ。	は浅同位置で造り直されている。	平安・前～中期
02	22次	Ｓ40−43・Ｅ28−37	柱穴３、柱間330～450cm。Ｅ−13′－Ｎ。	ＳＤ10の南岸に並行する。	中世
03	27次	Ｓ64−73・Ｗ42−44	柱穴５、柱間240cmと270cm。Ｎ−1′45″－Ｗ。	ＳＢ12の東側に並行、目隠塀とみられる。	奈良(創建期)
ＳＢ					
01	25次	Ｎ15～30・Ｅ11～43	金堂跡。７×４間の基壇建物。Ｎ－４′－Ｅ。	基壇と礎石５個が残る。	奈良～平安
02	23次	Ｓ87～92・Ｅ59～61	基壇建物跡。680×560cm。	瓦葺ム基壇、建物規模は不明。	平安
03	19次	Ｓ４～24・Ｗ26～51	塔跡−近藤氏、基壇−2264尺。	基壇と礎石５個が残る。	奈良～平安
04	５Ｔ	Ｎ17・Ｅ132付近	東大門（ＳＪ06建立も上がりの訛認）	礎石１個が残る。	奈良～平安
05	(欠番)				
06	12Ｔ	Ｎ61～80・Ｅ23～33	講堂跡。桁間４間、梁行２半間。	礎石据形の一部が残る。	奈良～平安
07	５Ｔ	Ｎ25～33・Ｅ125～130	３×２間の掘立柱建物跡。	ＳＪ05ガマドに切られている。	奈良
08	18次	Ｎ１～10・Ｗ４～10	３×２間の掘立柱建物。	柱穴据形は円形。	平安
09	17次	Ｓ16～44・Ｗ６～11	２×９間（以上）の掘立柱建物。	部分的に床束柱が認められる。	平安
10	23次	Ｓ93～103・Ｅ26～32	南大門跡。２×３(以上)間。Ｎ－０－Ｅ。	基壇東半部と東側柱の礎石が残る。改修の可能性あり。	奈良～平安
11	24次	Ｓ51～56・Ｗ70～75	２×２間の掘立柱建物跡。Ｅ－９′43－Ｎ。		奈良(創建期)
12	27次	Ｓ63～75・Ｗ47～58	２×４間で南北に廂をもつ掘立柱建物跡。Ｎ－１′45－Ｗ。	礎乱が著しい。	奈良(創建期)
13	29次	Ｓ26～31・Ｅ18～25	１×２間の掘立柱建物跡。Ｅ－３′－Ｓ。		奈良～平安
14	31次	Ｓ114～119・Ｗ45～53	２×４間の掘立柱建物。Ｅ－１′30″－Ｓ。		平安
ＳＤ					
01	16・31次	Ｓ100～104・Ｅ132～Ｗ70	南辺築垣外側の溝。西半部で広くなる。	空堀。	奈良～平安
02	10Ｔ・28次他	Ｎ62～Ｓ130・Ｅ５～25	階段状に掘られた溝。	寺域中央部を南北に貫流する。	中世
03	５Ｔ・13次	Ｎ21～24・Ｅ101.5～102.5	上部幅310cm・底部幅100cm・深さ100cmの U 型の南北溝。Ｎ−０′30″－Ｅ。	さらに南北にのびる。	中世
04	15Ｔ	Ｓ８～20・Ｅ95～104	上部幅200cm・底部幅30cmの V 型溝。Ｎ−40′－Ｗ。	南北に続く。	奈良～平安
05	５Ｔ	Ｎ16～21・Ｅ122～132	浅い南北溝。	ＳＪ06を切る。	平安～中世
06	５Ｔ	Ｎ24～25.5・Ｅ124～125	浅い南北溝。	ＳＪ05を切る。ＳＤ05の北延長部とみられる。	平安～中世
07	12Ｔ	Ｎ59～64・Ｅ16～25	上部幅85cm・底部幅30cm・深さ30cm。	ＳＥ01から南へ流れ出る。	中世
08	(欠番)				
09	20次	Ｎ89～94・Ｗ０～15	上部幅100～200cm・底部幅50～120cm。浅い皿状。	「く」型に曲がる。	中世
09ｂ	34次	Ｎ80～86・Ｗ27～30	ＳＤ09の南西部分。	ＳＤ17に切られる。	中世
09ｃ	34次	Ｎ75～78・Ｗ31～35	ＳＤ09の南西部分。		中世
10	22・29次	Ｓ37～40・Ｅ52～60	上部がラッパ状に開く形状。	ＳＤ02に直角にとりつく。	中世
11	22次	Ｓ15～25・Ｅ50～52	Ｕ型の溝。	ＳＤ10に直角にとりつく。	中世
12	１Ｔ・23次	Ｓ103～104・Ｅ29～57	上部幅75cm・底部幅50cmの U 型溝。	ＳＤ01の南縁に造られている。	平安
13	31次	Ｓ115～118・Ｗ10～12	上部幅70cm・底部幅40cm～50cmの U 型溝。	ＳＪ38に切られている。	平安
14	32次	Ｎ19～27・Ｅ142～143	上部幅80cm・底部幅60cmの U 型溝。	ＳＤ15によって切られる。	(不明)
15	32次	Ｎ21～23・Ｅ140～145	上部幅150cm・底部幅70cmの U 型溝。	ＳＤ14を切る。	(不明)
16	32次	Ｎ24～26.5・Ｅ142.5～143.5	浅い南北溝。		(不明)
17	34次	Ｎ79～83.5・Ｗ27～30	上部幅100cmの浅い溝。	ＳＤ09を切る。	中世
18	34次	Ｎ75～78・Ｅ6.3～8.9	上部幅160～230cm・底部幅100～180cmの南北溝。	ＳＤ09の南東延長部分とみられる。	中世
ＳＥ					
01	12Ｔ	Ｎ64～67・Ｅ26～28	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。	西半部は破壊されている。	中世
02	５Ｔ	Ｓ９～11・Ｅ92～94	円筒形。素掘り。	ＳＤ04に伴う。	奈良～平安
03	18次	Ｎ16～13・Ｗ８～12	円形で上部はラッパ状に開く。	上縁北西部に長方形の足場がつく。	中世
04	20次	Ｎ13～14・Ｅ５～７	掘形上部は隅丸の不整方形。深さ550cm。	上部は削平されている。	奈良～平安
05	20次	Ｎ97～99・Ｅ10～12	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。		中世
06	20次	Ｎ98～101・Ｅ34～37	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。		中世
07	22次	Ｓ40～45・Ｅ52～56	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。		中世
08	15Ｔ	Ｓ16～19・Ｅ102～106	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。		中世
09	20次	Ｎ31～35・Ｗ13～17	円形で上部はラッパ状に開く。素掘り。		中世
10	26次	Ｎ30～32・Ｗ26～28	円筒形。素掘り。		中世
11	26次	Ｎ33～35・Ｗ25～27	円筒形。素掘り。		中世
12	26次	Ｎ50～52・Ｗ23～25	円筒形。深さ760cm。素掘り。	上部南半分はＳＫ32に切られる。	中世
13	26次	Ｎ50～51・Ｗ11～13	円筒形。素掘り。	ＳＫ34を切っている。	中世
14	26次	Ｎ51～53・Ｗ10～14	円筒形。素掘り。	ＳＫ39を切っている。	中世
15	26次	Ｎ35～36.5・Ｗ13～15	円筒形。上部が95cm・深さ74cm・素掘り。		中世
16	30次	Ｓ51～52・Ｗ56～57	円筒形。	未完掘。上部は耕作により破損。	中世
17	34次	Ｎ75～76.3・Ｗ３～６	円筒形。上部はラッパ状に開く。素掘り。	未完掘。	中世
18	34次	Ｎ104～106・Ｗ27～29	円筒形。上部はラッパ状に開く。素掘り。	未完掘。	中世
ＳＦ					
01	１Ｔ・31次他	Ｓ90～100・Ｅ134～Ｗ70	南辺築垣跡。基底幅約200cm。基部は粘質土を盛り、本体は版築様に造られる。	基部および本体の一部が残る。ＳＪ21・22はこれが崩れた跡に造られている。	奈良～平安
ＳＪ					
01	11Ｔ	Ｓ10～15・Ｗ０～５	400×350cm。東壁にカマド。柱穴なし。	遺物は少ない。	８世紀後期
02	５Ｔ	Ｎ38～39・Ｅ129～130	(不明)	残存状態は悪い。	平安
03	５Ｔ	Ｎ34～35・Ｅ127～128	(不明)	残存状態は悪い。	10世紀末期
04	５Ｔ	Ｎ33～34・Ｅ129～131	(不明)	残存状態は悪い。	平安
05	５Ｔ	Ｎ25～29・Ｅ122～126	330×270cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｎ−０′30″－Ｅ。	ＳＢ07の柱穴を切る。	８世紀後期
06	５Ｔ	Ｎ19～25・Ｅ122～128	600×480cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｎ−０′30″－Ｅ。	工房跡とみられる。	８世紀前期
07	５Ｔ	Ｎ27～28・Ｅ128～130	(不明)	ＳＫ01を埋めた上に造る。	10世紀末期～11世紀前期
08	18次	Ｎ17～20・Ｗ20～26	460×280cm。東壁にカマド。柱穴なし。	残存状態は良好。南壁に張り出しがある。	９～10世紀
09	22次	Ｓ45～53・Ｅ34～41	570×560cm。東壁にカマド。柱穴あり。Ｅ－２′－Ｓ。	残存状態は良好。南壁に張り出しがある。	古墳後期
10	22次	Ｓ53～57・Ｅ28～34	545×300cm。東壁にカマド。柱穴１個あり。Ｅ－９′－Ｎ。		古墳後期
11	22次	Ｓ38～45・Ｅ53～63	740×660cm。東壁にカマド。柱穴あり。Ｅ－28′－Ｎ。	北側はＳＤ01に切られる。	古墳後期
12	23次	Ｓ99～101・Ｅ33～35	(不明)	カマドのみ残存。ＳＤ01に壊される。	古墳後期
13	24次	Ｓ86～89・Ｗ67～70	250×250cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ－６′－Ｓ。	ＳＪ14を切る。	10世紀初頭
14	24次	Ｓ84～88・Ｗ69～72	規模は不明。東壁にカマド。	ＳＪ13に切られる。西半部は崩落のため滅失する。	９世紀後期～10世紀初頭
15	15Ｔ	Ｓ21～23・Ｅ81～84	210×160cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ－６′15″－Ｎ。	東辺に開位切り材の痕あり。	９世紀前期
16	27次	Ｓ70～73・Ｗ55～58	330×260cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ－22′－Ｎ。	ＳＢ12に切られる。	７世紀後期
17	27次	Ｓ64～68・Ｗ57～60	390×350cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ－４′－Ｎ。	ＳＢ12に切られる。	７世紀後期
18	27次	Ｓ67～73・Ｗ37～42	440×430cm。東壁にカマド。柱穴あり。	残存状態は良好。	７世紀末期
19	27次	Ｓ77～80・Ｗ33～35	(不明)	残存状態は悪い。	(不明)
20	27次	Ｓ106～110・Ｗ35～40	360×360cm。南東隅にカマド。柱穴なし。	寺域南外側にある。	11世紀中期
21	27次	Ｓ88～93・Ｗ36～39	410×355cm。北壁と東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ－６′－Ｎ。	ＳＦ01の跡に造られる。ＳＪ22の東側に並ぶ。	11世紀前期～中期
22	27次	Ｓ89～92・Ｗ41～44	330×285cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ－２′－Ｓ。	ＳＦ01の跡に造られる。	11世紀初頭～前期
23	27次	Ｓ78～83・Ｗ36～42	490×400cm。	ＳＫ68・69に切られる。	９世紀
24	27次	Ｓ67～70・Ｗ47～51	340×310cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ－１′30″－Ｓ。	ＳＢ12に切られる。	７世紀末期～８世紀初頭
25	29次	Ｓ10～16・Ｅ18～24	525×470cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ－33′－Ｎ。	東辺に開位切り材の痕あり。	７世紀末期～８世紀初頭
26	29次	Ｓ６～11・Ｅ25～30	362×346cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ－30′－Ｎ。	ＳＴ30などに切られる。	７世紀末期～８世紀初頭
27	29次	Ｎ２～７・Ｅ25～30	490×345cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ－62′－Ｓ。	ＳＴ17などに切られる。	７世紀末期～８世紀初頭
28	29次	Ｓ25～29・Ｅ17～21	(不明)	石組炉と埋設甕のみ残存。	縄文中期
29	30次	Ｓ53～57・Ｗ62～66	径350cm程度の不整円形。炉は不明。	ＳＫ77に切られる。	縄文中期
30	30次	Ｓ58～64・Ｗ61～67	530×480cm。東壁にカマド。柱穴あり。Ｅ－24′30″－Ｎ。	東辺に開位切り材の痕あり。	７世紀末期～８世紀初頭
31	30次	Ｓ57～60・Ｗ57～60	300×270cm。柱穴あり。Ｅ−30′－Ｓ。	ＳＫ85に切られる。	中世
32	30次	Ｓ81～83・Ｗ48～51	260×230（以上）cm。柱穴なし。Ｅ−19′30″－Ｎ。		７世紀末期
33	30次	Ｓ83～86・Ｗ49～52	360×270cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ−10′－Ｎ。	ＳＪ32を切って造られる。	７世紀末期
34	31次	Ｓ109～114・Ｗ51～56	360×500cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ−21′30″－Ｎ。	残存状態は良好。	９世紀前期
35	31次	Ｓ116～122・Ｗ60～66	530×490cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ−32′30″－Ｎ。	ＳＪ43などに切られる。	６世紀前期
36	(欠番)				
37	31次	Ｓ117～120・Ｗ31～34	(不明)	西南部入口のみ検出。	10世紀
38	31次	Ｓ116～121・Ｗ10～14	390×445cm。東壁にカマド。柱穴あり。Ｅ－２′30″－Ｎ。	床面に開位切り材の痕あり。	10世紀
39	31次	Ｓ117～120・Ｗ５～８	370×280cm。南東隅にカマド。柱穴なし。Ｅ−30′30″－Ｎ。	残存状況は悪い。	10世紀
40	31次	Ｓ115～117・Ｗ７～９	(不明)	残存状態は悪い。	(不明)
41	31次	Ｓ116～121・Ｅ８～12	400×440cm。東壁にカマド。柱穴あり。Ｅ－19′30″－Ｎ。	南東部は攪乱のため破損。	６世紀前期～中期
42	31次	Ｓ118～122・Ｗ61～65	320×270cm。柱穴なし。Ｅ−４′－Ｎ。	ＳＪ35・43・44を切る。	平安
43	31次	Ｓ115～118・Ｗ61～65	300×150（以上）cm。柱穴なし。	南半部をＳＪ42に切られる。	平安
44	31次	Ｓ112～123・Ｗ61～65	325×185（以上）cm。柱穴なし。	北半部のみ検出。ＳＪ42に切られる。	平安
45	31次	Ｓ150～154・Ｅ７～10	300（以上）×320cm。東壁にカマド。柱穴なし。Ｅ−30′30″－Ｎ。	一部を検出。	７世紀前期～中期
46	30次	Ｓ77～79・Ｗ55～58	(不明)	カマドの焼土、床面一部のみ残存。	(不明)
ＳＫ					
01	５Ｔ	Ｎ22～28・Ｅ128～132	520×370cm、深さ90cmの規模。	ＳＢ07を切る。理土上にＳＪ07が造られる。	奈良～平安
02	５Ｔ	Ｎ21～24・Ｅ42～46.5	幅450cm・深さ約200cm。形状不明。	金堂基壇東側に接する。	中世～近世
03	５Ｔ	Ｎ18・Ｅ53～59	(不明)	金堂基壇東側にあり、石造物を多く含む。	中世～近世
04	11Ｔ	Ｓ10～12・Ｗ２～３	160～200cmの円形で深さ20cm。	ＳＪ01を切る。	中世
05	５Ｔ	Ｎ40～41・Ｅ125～126	130×110cmの楕円形。	焼土壙。	(不明)
06	16次	Ｓ100～101・Ｅ137～138	130×90cmの長方形で、深さ70cm。		中世
07	19次	Ｎ11～13・Ｗ37～39	70×90cmの楕円形。	焼土壙。	奈良
08	18次	Ｎ12～16・Ｗ４～８	320×310cmの方形で、深さ50cm。	ＳＴ５の上に造られる。ＳＫ09に切られる。	中世～近世
09	18次	Ｎ15～17・Ｗ４～７	225×170cmの長方形で、深さ430cm。	ＳＫ08を切る。	中世～近世
10	17次	Ｓ21～22・Ｗ13～15	径100cm、深さ40cmの円形。	瓦敷布面下部で検出。	平安
11	17次	Ｓ25～26・Ｗ13～15	90×110cm、深30cmの円形。	瓦敷布面下部で検出。	平安
12	17次	Ｓ31～33・Ｗ13～15	140×110cmの円形。	瓦敷布面下部で検出。	平安
13	16次	Ｓ101～107・Ｅ136～141	550×460（以上）cmの楕円形で、深さ140cm。	改修時以前に造られたもの。	平安
14	20次	Ｎ113～115・Ｅ37～39	220×200（以上）cmの方形で、深さ50～70cm。	底面に礫が散布する。	中世
15	22次	Ｓ57～59・Ｅ29～32	290×150（以上）cmの方形、深さ40cm。	南半部は未調査。	(不明)
16	23次	Ｓ94～96・Ｅ10～11	210×130（以上）cmの楕円形で、深さ30cm。	西半部は未調査。	(不明)
17	24次	Ｓ88～89・Ｅ68～70	径60cmの円形で、深さ60cm。	浅間Ｂ軽石が入る。	平安～中世
18	24次	Ｓ83～85・Ｗ60～61	120×80（以上）cmの円形で、深さ40cm。		(不明)
19	24次	Ｓ85～87・Ｗ63～65	145×110cmの長方形で、深さ30cm。	底面に扁平玉石が入る。	奈良～平安
20	24次	Ｓ87～88・Ｗ60～63	170×90cmの長方形で、深さ30cm。	ＳＦ01の北側に接してある。	(不明)
21	15Ｔ	Ｓ15～19・Ｅ76～78	340×220cmの長方形で、深さ40cm。		(不明)
22	15Ｔ	Ｓ16～17・Ｅ70～71	90×56cmの長方形で、深さ60cm。		(不明)
23	15Ｔ	Ｓ23～24・Ｅ84～85	100×65cmの長方形で、深さ20cm。		(不明)
24	15Ｔ	Ｓ16～18・Ｅ95～97	200×100cmの長方形で、深さ20cm。	不整形の窪地状で、礫が入る。	(不明)
25	26次	Ｎ25～28・Ｗ11～14	210×190cmの長方形で、深さ50cm。	ＳＫ26を切っている。底面に五が並べられている。	平安
26	26次	Ｎ27～29・Ｗ10～12	200×170cmの長方形で、深さ60cm。	ＳＫ25に切られる。	平安
27	26次	Ｎ27～31・Ｗ８～11	340×210cmの長方形で、深さ17cm。		平安
28	26次	Ｎ32～34・Ｗ８～11	170×160cmの不定円形で、深さ20cm。		(不明)
29	26次	Ｎ41～44・Ｗ８～12	270×220cmの長方形で、深さ27cm。		平安
30	26次	Ｎ37～40・Ｗ９～11	235×105cmの長方形で、深さ50cm。	ＳＫ31に切られる。瓦片と礫が多く入る。	平安
31	26次	Ｎ36～38・Ｗ７～10	200×150cmの長方形で、深さ20cm。	ＳＫ30を切る。	平安～中世
32	26次	Ｎ48～51・Ｗ20～25	380×260cmの長方形で、深さ130cm。	ＳＥ12を切る。開設を設ける。	中世～近世
33	26次	Ｎ50～52・Ｗ７～９	135×110cmの長方形で、深さ80cm。	廃棄で穴。ＳＫ49に切られる。	11世紀
34	26次	Ｓ49～52・Ｗ10～13	210×135cmの不正長方形で、深さ30cm。	ＳＥ13に切られる。	中世
35	26次	Ｎ51～53・Ｗ19～21	192×105cm、深さ10cm。		(不明)
36	26次	Ｎ51～54・Ｗ20～22.5	125×194cm、深さ14.5cm。ＳＫ35に切られる。		(不明)
37	26次	Ｎ42～45・Ｗ23～26	210×190cm、深さ170cm。（Ｅ−15′－Ｓ）。		(不明)
38	(欠番)				
39	26次	Ｎ51～53・Ｗ14～16.5	264×218cm、深さ44.5cm。	ＳＥ14で切られる。	(不明)
40	26次	Ｎ30～32・Ｗ23.5～24.5	110×70cm。（長方形）。深さ47cm。		(不明)
41	26次	Ｎ27～29・Ｗ15～18	184×132cm、深さ21cm。	(不明)	
42	26次	Ｎ35～37・Ｗ22～24	180×166cm、深さ56cm。	ＳＫ43と重なる。	(不明)
43	26次	Ｎ35～37・Ｗ22～24.5	180×166cm、深さ56cm。	ＳＫ42と重なる。	(不明)
44	26次	Ｎ35～36・Ｗ６～８	125×124（以上）cm、深さ79cm。袋状をなす。		(不明)
45	26次	Ｎ35～36・Ｗ７～８	72×70cm、深さ36cm。		(不明)
46	26次	Ｎ35～36・Ｗ９～10	78×75cm、深さ38cm。		(不明)
47	26次	Ｎ37～39・Ｗ６～８	164×160cm、深さ33cm。袋状をなす。		(不明)
48	26次	Ｎ34～37・Ｗ13～16	424×198cm、深さ27cm。		(不明)
49	26次	Ｎ50～52・Ｗ６～８		ＳＫ39と重なる。	(不明)
50	26次	Ｎ44～46・Ｗ16～18	100×85cm、深さ９cm。		(不明)
51	26次	Ｎ45～46・Ｗ20～22	100×75cm、深さ22cm。		(不明)
52	26次	Ｎ53～55・Ｗ14～16	225×190cm、深さ8.5cm。		(不明)
53	25次	Ｎ14～15・Ｅ18～20	140（以上）×106（以上）cm、深さ41.5cm。	金堂跡の南西側。	(不明)
54	25次	Ｎ13～15・Ｅ15～17	66×64cm、深さ４cm。	ＳＫ55と並ぶ。	(不明)
55	25次	Ｎ13～15・Ｅ14～16	90×88cm、深さ4.5cm。	墓壙によって切られる。	中世
56	27次	Ｓ64～67・Ｗ44～48	310×110cm、深さ130cm。		平安
57	27次	Ｓ72～74・Ｗ58～60	135×134cm、深さ26cm。		(不明)
58	27次	Ｓ63～64・Ｗ58～59	90×78cm、深さ20cm前後。		(不明)
59	27次	Ｓ95～99・Ｗ34～37	330×110cm、深70cm。	ＳＦ01の南縁部を切って造る。	中世
60	27次	Ｓ104～106・Ｗ39～41	200（以上）×120cm、深さ90cm。		(不明)
61	27次	Ｓ97～98・Ｗ39～41	120×100cmの長方形。焼土壙。	火葬用の土壙とみられる。	中世
62	27次	Ｓ69～71、Ｗ46～48	160×120cm、深さ40cm。		縄文中期
63	27次	Ｓ69～71、Ｗ45～47	150×110cm、深さ190cm。		縄文中期
64	27次	Ｓ68～70・Ｗ45～47	120×120cm、深さ110cm。		(不明)
65	27次	Ｓ62～67・Ｗ36～40	370×280（以上）cm。		(不明)
66	27次	Ｓ74～79・Ｗ38～41	450×340cm、深さ70cm。		平安
67	27次	Ｓ78.2～78.5・Ｗ41～41.5	40×30cm、深さ10cm。		(不明)
68	27次	Ｓ79～80・Ｗ40.9～41.5	60×55cm、深さ32cm。		平安
69	29次	Ｓ３～６・Ｅ22～24	260×200cmの不整長方形で、深さ170cm。		(不明)
70	29次	Ｓ１～Ｎ２・Ｅ22～24	径270cm、深さ190cm。不正円形。	階段がつく。	(不明)
71	29次	Ｓ22～25・Ｅ20～22.5	310×250cmの不整長方形で、深さ12cm。	東西耕作溝に切られる。	(不明)
72	29次	Ｓ26～29・Ｅ19～22	270×260cm、深さ４cm。	(不明)	
73	29次	Ｓ32～36・Ｅ20～25	146×140cm、深さ40cm。		(不明)
74	29次	Ｓ32～34・Ｅ27～30	186×100cm、深さ9.5cm。		(不明)
75	29次				
76	(欠番)				
77	30次	Ｓ54～57・Ｗ65～69	316×240cmの長方形で、深さ80cm。	底部は平坦。	中世
78	30次	Ｓ56.5～59・Ｗ47.5～51	334×250cmの不正円形で、深さ30cm。		平安
79	30次	Ｓ52～55・Ｗ42～45	230×230cm、深さ26cm。		平安
80	30次	Ｓ62～64・Ｗ68～70	146×144cmの円形で、深さ27cm。	底部は凹凸が著しい。	(不明)
81	30次	Ｓ56～58・Ｗ60～62	158×146cmの不正円形で、深さ８cm。	底部は凹凸が著しい。	(不明)
82	30次	Ｓ77～81・Ｗ46～53	600×270cmの楕円形で、深さ130cm。	ＳＫ85の北半分を切って造る。	９世紀後期
83	30次	Ｓ57.5～59・Ｗ52～54.5	不正円形。		平安
84	30次	Ｓ81～82・Ｗ51～52	74×70cm、深さ20cm。		(不明)
85	30次	Ｓ78～82・Ｗ46～51	560×250cm、深さ40cm。	北半部はＳＫ82に切られる。	９世紀後期
86	30次	Ｓ73～79・Ｗ34～37	330×390cmの楕円形状で、深さ10cm。		(不明)
87	31次	Ｓ117～120・Ｗ23～28		ＳＫ97・ＳＫ99に切られる。	(不明)
88	(欠番)				
89	31次	Ｓ118～120・Ｗ27～30	260×146（以上）cm、深さ17.5cm。	底部は平坦。	(不明)
90	31次	Ｓ119～120・Ｗ19～23	220×68（以上）cm。		(不明)
91	31次	Ｓ119～120・Ｗ19～20	100×66（以上）cmの不正円形で、深さ34cm。		(不明)
92	31次	Ｓ117～120・Ｗ15～18	366×280cm、深さ26cm。	ＳＪ38に切られる。	平安
93	31次	Ｓ115～116・Ｗ15～16	126×118（以上）cm。		(不明)
94	31次	Ｓ118～122・Ｗ１～４	390×290（以上）cm、深さ14cm。	瓦片を含む。	(不明)
95	31次	Ｓ115～117・Ｅ９～12	270×160cm、深さ10cm。		(不明)
96	31次	Ｓ104～113・Ｅ７～10	256×56（以上）cm、深さ18cm。		(不明)
97	31次	Ｓ117～119・Ｗ26～29	190×156cm、深さ34.5cm。	ＳＫ87を切って造る。	(不明)
98	31次	Ｓ117～119・Ｗ23～26	152×144（以上）cm、深さ75cm。		(不明)
99	31次	Ｓ117～120・Ｗ22～25	228×160cm、深さ113cm。	ＳＫ87を切って造る。	(不明)
100	31次	Ｓ117～120・Ｗ22～25		大部分がＳＫ99と重複。ＳＫ99を切る。	(不明)
101	33次	Ｎ116～119・Ｅ118.5～120	270×140cmの楕円形で、深さ120cm。	上半部はラッパ状。下半部は凸角度。	15世紀中期
102	33次	Ｎ110.7～112.7・Ｅ122～124.5	230×200cmの隅丸長方形。Ｗ−10′30″－Ｎ。	掘形は急角度で、底部は平坦。	中世
103	33次	Ｎ79.4～84・Ｅ117.5～121.5	420×400cmの楕円形。	上半部は垂直、下半部は急傾斜。底部に礫と瓦が多量に入る。	14世紀末期
104	33次	Ｎ80～82.4・Ｅ102.5～106.2	300×150（以上）cmの円形で、深さ18cm。		(不明)
105	34次	Ｎ72～76.8・Ｅ８～11	360×260cmの方形、深さ40cm。		(不明)
106	34次	Ｎ77～78・Ｅ20～21.5	146×106（以上）cm、深さ29.5cm。	ＳＫ107を切って造る。	(不明)
107	34次	Ｎ77～78・Ｗ21.5～23	132×130（以上）cm、深さ37cm。	ＳＫ106に切られる。	(不明)
108	33次	Ｎ83.7～84.1・Ｅ117.4～117.8	30×40cm、深さ30cm。		(不明)
109	35次	Ｓ35～36・Ｗ50～50.5	106×40（以上）cmの長方形で、深さ20cm。	焼土壙。	(不明)
110	35次	Ｓ43～44・Ｗ25～29	400×200cm、深さ30cm。		奈良
ＳＴ					
1	(欠番)				
2	16次	Ｓ98～99・Ｅ138～139	90×40（以上）cm。	地山を浅く掘込む。	中世以降
3	18次	Ｎ20～22・Ｗ４～６	120×100cmの方形で、深さ27cm。		中世
4	18次	Ｎ13～15・Ｗ４～６	120×110cmの方形で、深さ28cm。		中世
5	18次	Ｎ16～18・Ｗ４～６	120×110cmの長方形。	ＳＫ08に切られる。	中世
6	18次	Ｎ12～13・Ｗ１～３	径120cmの円形。		中世
7	(欠番)				
8	18次	Ｎ18～19・Ｗ４～６	径60cm円形		中世
9	18次	Ｎ16～18・Ｗ３～５	80×60cm の長方形。		中世
10	18次	Ｎ６・Ｗ８	120×110cmの長方形。	ＳＢ08を切る。	中世
11	19次	Ｓ22～24・Ｗ32～33	120×60cm。		(不明)
12	19次	Ｓ20～22・Ｗ32～33	90×70（以上）cm。		(不明)
13	(欠番)				
14	27次	Ｓ60～61・Ｗ38.5～39.5	(不明)		(不